

真宗大谷派 根室別院

Higashi Honganji



活動している間法会

大谷婦人会

例会日：月1回 13時～（女性の会）

ご門徒のご婦人の集まりです。法話を聴いたり、新年会などの行事を通して交流を深めています。



遊心塾

例会日：月1回（男性・女性の会）

所属寺院を問わず成年が仏教のいろはを学んだり、うどんや蕎麦打ち例会、別院寄席の開催など様々な活動を通して交流を深めています。



大谷会

例会日：不定期（男性の会）

男性を中心とした会で、法要準備等の奉仕活動を行っています。



同朋の会

例会日：毎月28日 18時30分～（男性・女性の会）

毎回講師をお招きし、親鸞聖人のお言葉を中心に学習しています。



コーラス 迦陵頻伽の会

例会日：毎月2回隔週金曜日 13時～（男性・女性の会）

報恩講をはじめ、様々な行事で楽しく活動しています。毎回ティータイムがあり、会員同士の交流も深めています。



健康舞踊教室

例会日：毎月2回隔週日曜日 16時～（男性・女性の会）

健康を意識した舞踊教室です。



推進員の会

2018年6月10日に推進員13名で、公開講座を開催し発会しました。



こども会

思いっきり遊んで楽しんだり、寺子屋などで学びを深めたり、活動が盛り沢山です。年齢問わずどなたでも参加いただけます。



初参り式

お子さまが生まれて初めてお寺にお参りをする、仏さまとのお縁の始まりとなる式です。当院では未就学児童を対象に、毎年4月第1日曜日に行っております。参加費は無料です。



お講 太子講・友知親友講・勲生会



根室ゾーンプロジェクト

日の出カフェ

都市部への人口流出、景気の低迷、少子化等の様々な要因による都市機能の低下が叫ばれる根室において、別院と地域の活性化を考えるプロジェクト。

「カフェ」の目的は飲食を提供しお金を得ることではなく、「カフェ」という形式を使い、たくさんの方々に気軽に足を運んでいただけるような場所、イメージづくりを目指しています。



「境内ライトアップの様子」



寺子屋



流しソーメン



坊主BAR

月例行事

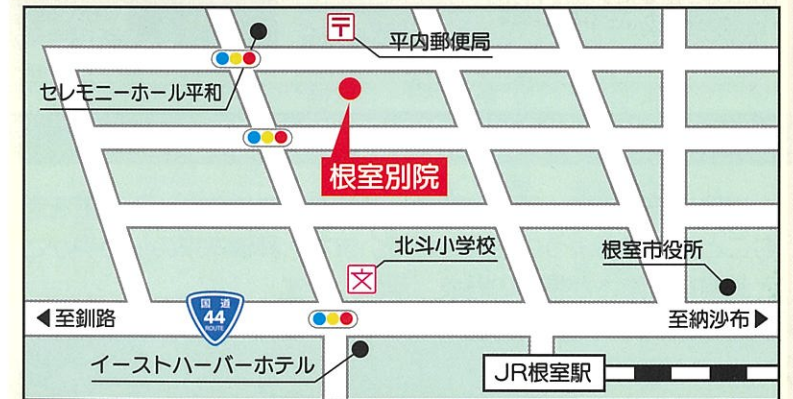
| | | |
|-------------------------------|------------------------|--------------------|
| じんじょう あさ つと 晨朝 (朝のお勤め) …… | 毎日6:30から | かんわ ほろわ 感話・法話あり |
| ぜんじゅうしょうにんごめいにち 前住上人御命日 …… | 12日速夜・13日命日 | たいや めいにち |
| ていれいほうざ 定例法座 …… | 18日・19日 13:00から15:00まで | |
| たいしこう 太子講 …… | 22日19:00から | たいしどう (太子堂にて) |
| しんらんしょうにんごめいにち 親鸞聖人御命日 …… | 27日速夜・28日命日 | たいや めいにち |

年間行事

| | |
|--------|--|
| 1月 …… | しゅうしやうえ 修正会 (元日 午前0:00) |
| 3月 …… | しゅんきひがんええいたいきやうほうよう 春季彼岸会永代経法要 (3/18~3/21) |
| 4月 …… | しゃくそんごうたんえ 釈尊降誕会 (4/1~4/8) たんじやうじほつまい 誕生児初参り式 (第1日曜日) りっきやうかいしゅうきねんほうよう 立教開宗記念法要 (4/15) |
| 7月 …… | うらぼんえほうよう 孟蘭盆会法要 (7/13~7/16) |
| 9月 …… | しゅうきひがんええいたいきやうほうよう 秋季彼岸会永代経法要 (9/20~9/23) |
| 11月 …… | しゅうそしんらんしょうにんほうおんこう 宗祖親鸞聖人報恩講 (11/5~11/7) しゅうそしんらんしょうにんごしやうき 宗祖親鸞聖人御正忌 (11/28) |
| 12月 …… | さいまつこんぎやう ほつがね 歳末勤行・初鐘 (12/31 23:50から) |



アクセスマップ



根室までの交通アクセス

- J R** 札幌・根室間 根室本線、花咲線、根室駅から徒歩10分
- 航 空** 根室から最寄りの空港 釧路空港・中標津空港
- 定期バス** 釧路・根室間 (1日3往復) ※土日祝日の場合2往復
中標津・根室間 (離発着便対応)
札幌・根室間 (1日1往復)

真宗大谷派 根室別院

〒087-0048 根室市平内町4丁目13番地
電話(0153)22-2115 FAX(0153)22-2116



別院の沿革

1877（明治10）年6月22日、山命により、時の函館別院輪番・岡崎元肇師が北海道東海岸地帯の宗教事情調査に出発しました。この頃、道東地方に英国教会系宣教師が教線を拡大していたのに危機感を感じたことでした。岡崎師は陸路乗馬での旅程中、各所で厳如上人の「御消息」披露を行いながら、札幌から日高へ抜け海岸沿いを移動し、9月4日根室に到着しました。それ以前から根室は漁業が盛んで、北方の島々への海路要衝の地になっており、すでに発展の兆しが見えていました。北陸方面（特に富山が多い）から移住してきていた門徒40数名が漁業に従事していたと言われています。なお農業に関しては気候が適さず、この時代は定着していませんでした。岡崎師は、漁民門徒のために寺院建立を思い立ち、門徒で土地第一の有力者でもあった柳田藤吉氏の協力を受けて9月10日開拓使根室支庁に「掛所設置・地所拝借願」を提出しました。翌日に許可を受け、常盤町旧墓地1080坪に仮標木を建てましたが、経済的事情から建築には及ばず、同じく門徒の高崎市助氏宅を仮説教所として、留守居に越中国砺波郡・正福寺住職試補の機部齊照師を置きました。これを根室別院のはじまりとしました。

なお、岡崎師は9月18日に帰途につき、また各地を巡回しながら10月中旬に、函館に戻りました。この巡回により道東の各地に真宗大谷派の寺院が開かれるきっかけとなりました。

1880（明治13）年11月に現在地に移り、土地の奇進も含めて1680坪の境内地となりました。この時の留守居は能登国鳳至郡・碧雲寺の常塚諦聰師があたり、その後、17年間支院昇格まで発展に尽くしました。

翌1881（明治14）年11月に仮本堂を建て、1897（明治30）年、函館別院根室支院に昇格しました。

1911（明治44）年、札幌別院旭川支院と共に別院に昇格し「根室別院」となりました。その後、時代社会の変遷にもまれながらも、今日までの真宗興隆の礎となってきました。

別院と北方四島

千島列島には、元々、アイヌ民族が暮らししており、1600年代初期の江戸時代には、当時の北海道を治めていた松前藩との交易の記録が残されています。

その後、1800年代後半の明治初期から先人が本格的に北方開拓に乗り出し、根室地域と北方領土は決して切り離すことのできない一体の生活・経済圏となりました。

北方領土では、漁業・林業・水産加工業が大きく発展し、北太平洋を取り巻く諸外国向けに海産物や木材等あらゆる物を大規模に輸出し、北方領土を含む根室地域は国際交流拠点都市機能を有する地域として発展してきました。

その過程で、根室や北方の島々では、季節的に出稼ぎで来ていた人たちも、徐々に通年で定住する人が増えていきました。

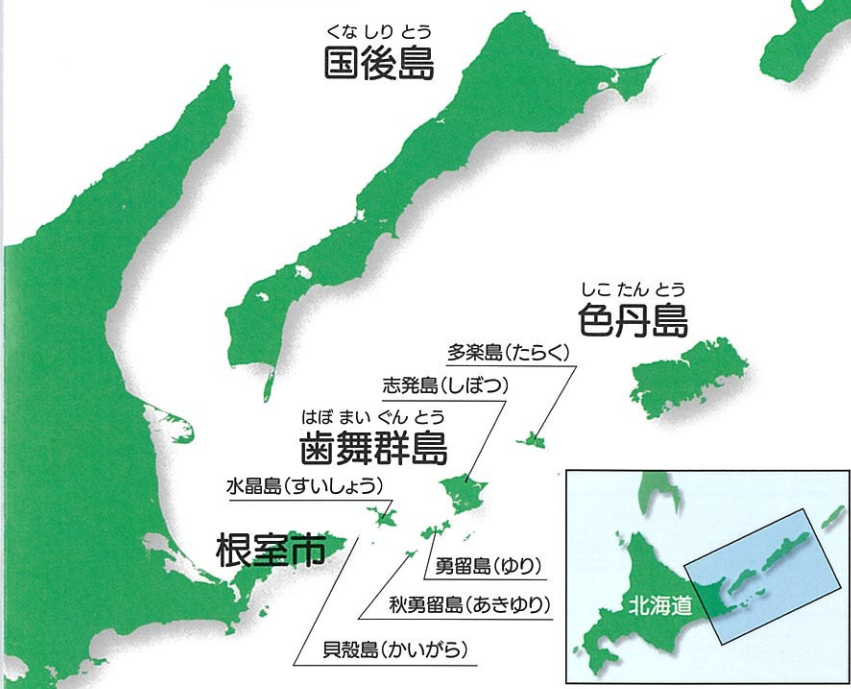
このため、北方領土にも社教会が全部で94社も置かれ、寺院は22寺がありました。真宗大谷派では、水晶島、志発島、多楽島、色丹島、国後島に各1ヶ寺、択捉島に2ヶ寺の計7ヶ寺が置かれ、最も早くに開かれたのは、1897（明治30）年2月、択捉島

留別村宇留別に建立された「千光寺」（住職：花木清心師、門徒1200名）でした。

1945（昭和20）年に終戦を迎えてから、ロシア（旧ソ連）による不法占拠で北方領土への立ち入りは制限されましたが、日露両国の合意の下に1964（昭和39）年から始まった「北方墓参」では、北方領土に眠る先祖の墓前で読経をする僧侶を安定的に派遣できる寺院として、根室別院が大きな役割を果たしています。



えとろふとう 択捉島



くなしりとう 国後島

しとんと 色丹島

はばまいぐんとう 歯舞群島

志発島(しばつ)

勇留島(ゆり)

秋勇留島(あきゆり)

貝殻島(かいがら)

水晶島(すいしょう)

多楽島(たらく)

根室市



- 一八六九年 開拓使役所を置き、根室国を置く
- 一八七七年 北海道開拓・開教出願調査隊派遣
- 一八八〇年 本願寺第二十一世厳如上人は、函館別院輪番を使僧として釧路・根室を教化・巡回
- 一八八〇年 根室に函館別院・根室掛所が設置される
- 一八八一年 仮本堂を建てる
- 一八九〇年 本堂落成
- 一八九五年 庫裡新築
- 一八九七年 函館別院根室支院と公称（門徒数三四三三）
- 一八九九年 択捉島に「北海山千光寺」建立
- 一九〇三年 色丹島に「色丹説教所」を開く
- 一九〇三年 多楽島に「多楽説教所」を開く
- 一九一一年 函館別院根室支院を根室別院と改称
- 一九一六年 水晶島に「水晶説教所」を開く
- 一九二二年 山門・鐘樓堂再建
- 一九三六年 国後島に「古釜布説教所」を開く
- 一九四九年 蓮如上人四五〇回御遠忌法要
- 一九五九年 親鸞聖人七〇〇回御遠忌法要
- 一九七八年 別院会館落成
- 一九八八年 親鸞聖人御誕生八〇〇年・別院開教一一〇周年・立教開宗七五〇年の三大慶讃法要
- 一九九七年 市営西浜墓地内に「共同墓所」完成
- 一九九八年 蓮如上人五〇〇回御遠忌法要
- 二〇一一年 別院創立一二〇周年記念法要・無量寿殿落慶法要
- 二〇一一年 宗祖親鸞聖人七五〇回御遠忌法要
- 二〇一三年 御本尊動座式
- 二〇一五年 御本尊還座式

- 根室別院・第二〇組（根釧管内真宗寺院）宗祖親鸞聖人七五〇回御遠忌法要
- 本堂等御修復完了奉告法要



墓参の様子



「ノサップ岬の日の出」

私たちの宗派

本尊 阿弥陀如来
正依の經典 仏説無量寿経 (大経)
 仏説観無量寿経 (観経)
 仏説阿弥陀経 (小経)
宗祖 親鸞聖人
宗祖の主著 顕浄土真実教行証文類 (教行信証)
宗派名 真宗大谷派
本山 真宗本廟 (東本願寺)

※正依とは「当派が大事にしているお経」という意味です。他のお経は大事にしているということではありません。ちなみに当院では祥月命日などに「小経」、一周忌～二十五回忌まで「観経」、三十三回忌以降は「大経」を読経しております。

仏前結婚式

仏前結婚式は、ご本尊の前で、お互いを尊重し、助け合う人生のよきパートナーとして出会ったご縁の不思議さを胸に、共に歩む誓いを立てる厳かな式です。

ぜひ、みなさんもお寺で結婚式を挙げてみませんか？



真宗大谷派の野卓 (斎壇)

当院の無量寿殿・天華ノ間は、真宗の法式にかなった葬儀を営むことが出来るように設計されています。葬儀本来のしめやかさと厳粛な荘厳さが特徴の野卓 (斎壇) です。

また、会館大ホール・会館和室なども葬儀会場としてご利用いただけます。

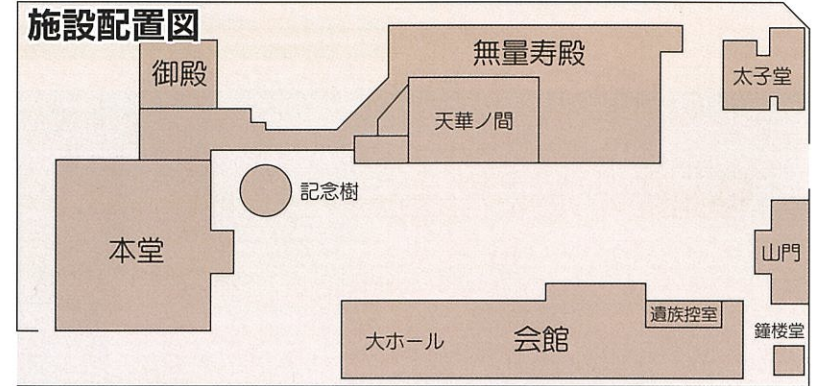


会館和室 24畳



詳細はお気軽に別院までお問い合わせください。

根室別院の施設

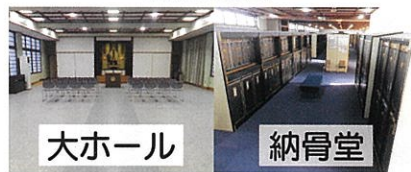


本堂 創建1890年
2014年11月30日
御修復完了

御殿 2014年11月30日
御修復完了
本山より御門首・御鍵
役が来院された時に使用
されます。



会館 1978年6月10日竣工
1階 605.88平方米
(大ホール 140畳相当)
2階 納骨堂 583.20平方米
(1,096壇)



太子堂

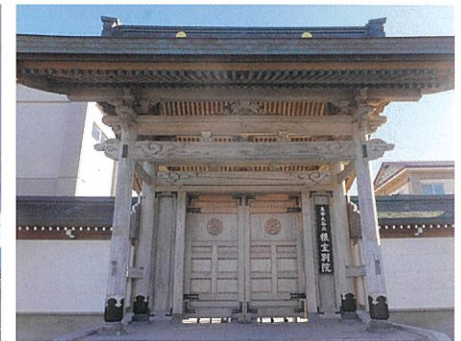
1901(明治34)年に根室聖徳太子講を結成。1903(明治36)年8月に間口5間、奥行4間の太子堂を別院に移設。1971(昭和46)年12月に太子堂の庫裏が完成。毎月22日に月参り、7月15、16日は例大祭を行なっている。



無量寿殿 1998年7月31日竣工
天華ノ間120畳・寺務所
研修室・講師室・輪番所
独身寮を併設



鐘楼堂 1906年建立
1922年再建



山門 1922年再建
2014年11月30日
御修復完了



仏額 第25代
大谷暢顕御門首
御染筆



記念樹 2015年5月16日
大谷暢顕御門首
夫妻植樹



共同墓所 1997年10月31日完成
(市内西浜墓地内)

納骨堂が満杯になった方や、遠方に転居して納骨堂を管理できない方々の利便を考えて作られた共同のお墓です。春秋の彼岸・お盆の年3回の勤行のほか随時申経を受付けております。